

1. 研究課題名

肝細胞癌の集学的治療に関する後ろ向き観察研究

2. 試料・情報

(1) 利用目的

肝臓癌は日本で多くの方の死因となっている病気の1つです。その肝臓癌の大部分を占めるのが肝細胞癌です。肝細胞癌は初回治療後の再発も多く、初回治療のみでなく、再発時の治療も重要です。本研究は、当院で治療を行った肝細胞癌の症例を分析することにより、今後のより良い診療に役立てることを目的としています。

研究期間は承認日から2027年6月までです。

(2) 利用項目、提供方法

2006年1月から2025年6月までに当院で肝細胞癌と診断され治療を受けた患者さんが対象となります。治療法としては以下のものが含まれます。

- ・ 肝切除
- ・ 穿刺局所療法（ラジオ波焼灼療法、マイクロ波凝固療法、エタノール注入療法）
- ・ 肝動脈（化学）塞栓療法
- ・ 薬物療法（全身化学療法、肝動注化学療法）
- ・ 放射線治療
- ・ 支持療法（肝炎ウイルスに対する抗ウイルス療法、腹水に対する利尿剤治療、栄養療法、疼痛緩和治療）

対象患者さんの過去の診療記録（カルテ）を参照し、以下のような項目を検討します。

- ・ 年齢
- ・ 性別
- ・ 身体所見
- ・ 血液検査所見
- ・ 画像所見：超音波、CT、MRI、血管造影、PET、消化管内視鏡など
- ・ 病理組織学的所見
- ・ 治療内容
- ・ 診断後の臨床経過：治療効果、治療の合併症・副作用、生存予後など

この研究は、後ろ向き観察研究という方法で行われ、新たに患者さんへの負担はかかりません。研究結果は、個人が特定できない形式で学会や医学雑誌に公表されることがあります。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 消化器内科 吉田英雄（研究責任者）

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604

担当：【消化器内科】吉田英雄